

## 質問回答

2016年4月17日

「(案件名)ミャンマー国第二次中央銀行業務ICTシステム整備計画準備調査」

(公示日:2017年4月5日/公示番号:170121)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	「業務の目的・内容に関する事項」中、7.成果品等の(7)機材仕様書、(8)デジタル画像集の納期	納期が2018年2月中旬になっているが、調査スケジュールは2017年12月までであるが、この理由、および当該期間のM/Mの考え方についてご教示ください。	(1)ページ11の第3.2の調査スケジュール(全体)にある「報告書提出」の時期については、ページ9の7.成果品等の(5)~(9)の提出時期に合わせた2018年2月中旬に訂正します。 (2)現在想定している調査スケジュールはかなりタイトであるため、12月までの報告書の最終化を目指すものの、機構内での積算審査等に要する時間も考慮すると、12月までに報告書等の成果品を最終化するのが困難な場合も想定されます。そのため、成果品提出の最終締め切りを2月中旬としています。2017年12月から2018年2月中旬の間に想定される業務としては、報告書ドラフトの修正、積算審査のフォロー等が想定され、それに要するM/Mを第3.3(1)の調査人月の枠内で計上してください。また、成果品提出期限、履行期間等については契約交渉でも別途協議します。

2	記載なし。	ヤンゴン、ネピター、マンダレーの中央銀行本支店において、コンサルタントの作業スペースは提供可能かをご教示ください。	提供可能です。
3	「業務の目的・内容に関する事項」中、2 . ( 4 ) 1 ) 1 CBM-NET への以下機能の追加	「キ)時点決済による顧客送金機能」、これは内国為替決済を想定したものと思われませんが、CBM-NET に為替決済の決済機能のみを追加する(為替データの交換および決済の計算機能は CBM-NET 外で手当てされる)ことが要請されているのか、それとも為替データの交換等も含む一連の内国為替決済機能全般の整備を要請されているのか、どちらがスコープとされているのでしょうか。	「為替データの交換等も含む一連の内国為替決済機能全般の整備」を想定しています。
4	「業務の目的・内容に関する事項」中、2 . ( 4 ) 1 ) 1 CBM-NET への以下機能の追加	「シ)アラート機能」、これは具体的にはどのような機能を想定されているのでしょうか。	送金の際の残高不足や、対マネーローンダリング上取引禁止先との取引が実施されようとした場合など、システム上で取引を中止するだけでなく、そのような取引があったことをユーザに対し、画面上やメールなどで表示する機能を想定しています。
5	「業務の目的・内容に関する事項」中、5 . ( 3 ) 上位政策と	上位政策「金融セクター開発戦略 2015-2020」は公表されていますでしょうか。配布資料に追加して頂くことは可能でしょうか。	現時点では公開されておらず、先方政府の内部資料の段階ですので、資料配布はできません。調査を通じて確認することになります。

	の整合性確保		
6	「業務の目的・内容に関する事項」中、5.(4)我が国中央銀行の教訓及び第三国中央銀行の事例活用	第三国中央銀行の調査に際して、ミャンマー中央銀行からの支援(第三国中央銀行への調査申入れ等)が得られると考えてよいでしょうか。また、別見積りを作成のこととの指示となっていますが、業務実施計画上に本調査計画を組み込んだうえで提案すればよいでしょうか。	第三国中央銀行の調査については、当該国に所在するJICA事務所から対象機関に対する調査協力依頼を発出するといった支援が可能です。プロポーザルに本調査計画を組み込んでいただくようお願いします。

以上